2025年度第2四半期
（2025年9月期）決算の概要

福島銀行

（2025年11月11日）

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て

目次

福島銀行

1. 決算トピックス ・・・・・・・ 2

2. 決算の概要 ・・・・・・・・ 6

3. SHINふくぎん 中期経営計画 ・・・・・・・ 13

4. SBIとの連携 ・・・・・・・・ 24

5. その他地域を元気にする取組み ・・・・・・・ 28

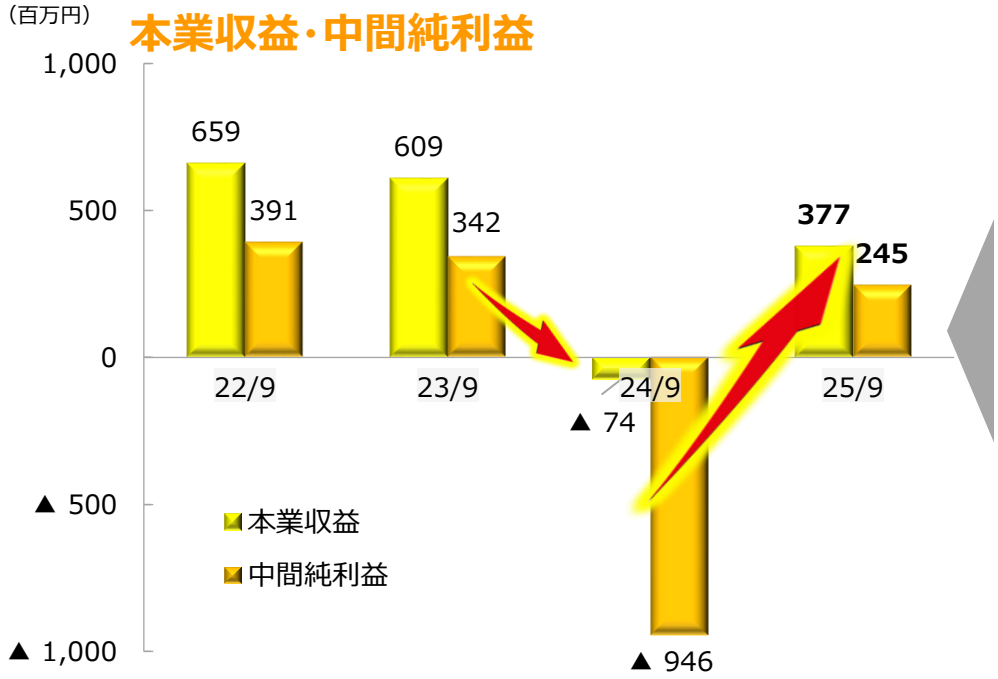
当行のプロフィール ・・・・・・・ 32

【無断転載禁止】

1. 決算トピックス

1.決算トピックス（本業収益・中間純利益）

福島銀行

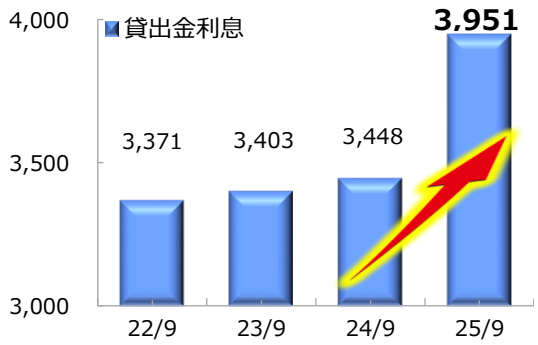


2025年9月期は増収増益
本業収益・中間純利益ともに黒字転換！

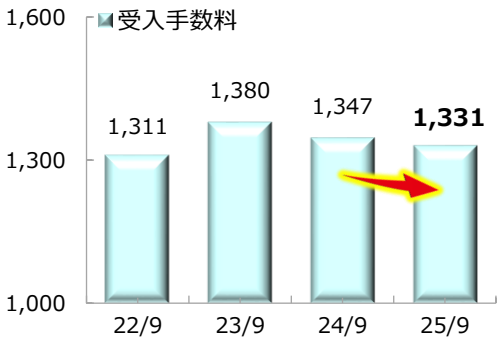
【中間純利益】
- システム更改に伴う一過性の費用により、赤字決算となった2024年9月から**V字回復!**

【業務収益】
- 営業収益は政策金利の上昇により、貸出金利息や有価証券配当金が増加

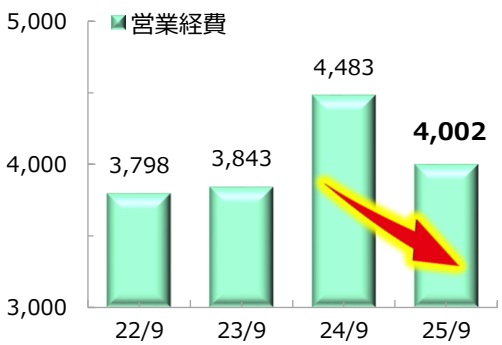
【業務費用】
- 営業経費は政策金利の上昇により預金利息増加するも、物件費などが大きく減少したため、減少



- 政策金利上昇により、貸出金利息が増加



- 投資信託、保険窓販手数料などが減少したことにより受入手数料は減少



- 前年度の新システム稼働により増加していた物件費や人件費が減少

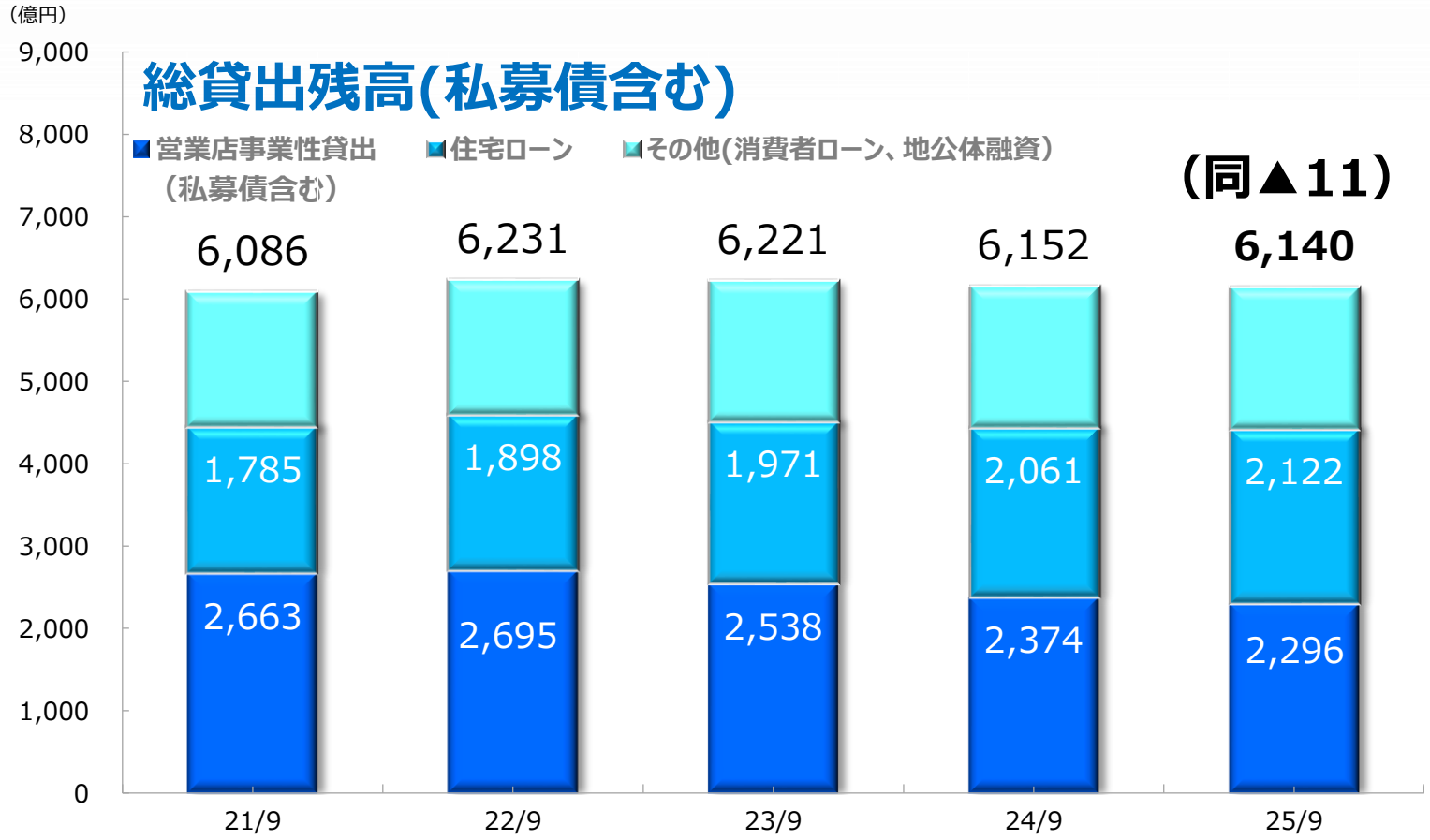
【無断転載禁止】

1.決算トピックス（総貸出残高<私募債含む>）

福島銀行

総貸出残高(私募債含む)は、6,140億円(前年同期比▲11億円減少)

- 営業店事業性貸出残高(私募債含む)は、2,296億円と、コロナ関連融資の返済などが進み同▲78億円減少
- 住宅ローンはローンプラザを中心に推進し、過去最高の2,122億円と同+60億円増加



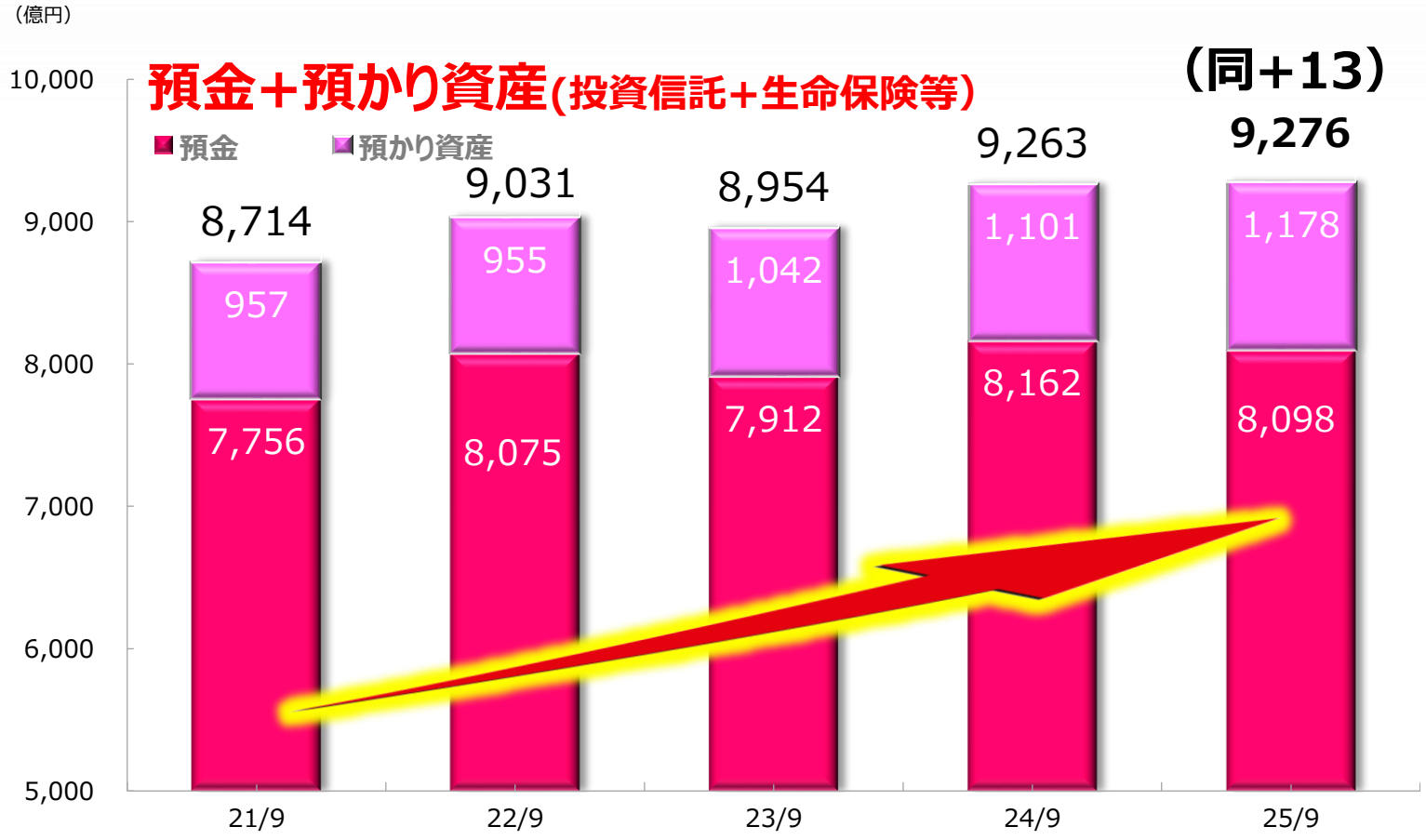
【無断転載禁止】

1.決算トピックス（総預かり資産）

福島銀行

総預かり資産(預金+預かり資産)の残高は、9,276億円(同+13億円増加)

- 総預金は8,098億円と、同▲63億円の減少
- 預かり資産残高は順調に推移し、1,178億円と同+77億円の増加



【無断転載禁止】

2. 決算の概要

2.決算の概要（2025年9月期の実績）

福島銀行

単　体

（百万円）

		25/9	24/9	前年同期比
1	経常収益（①+⑦）	6,065	5,306	759
2	業務収益①	5,958	5,211	747
3	貸出金利息	3,951	3,448	503
4	有価証券利息配当金ア	542	343	199
5	(A)投信解約益	–	0	▲0
6	受入手数料	1,331	1,347	▲15
7	国債等債券売却益②イ	–	–	–
8	業務費用③	5,596	5,249	347
9	預金利息（譲渡性預金利息含む）	888	136	751
10	一般貸倒引当金繰入④	13	▲120	133
11	国債等債券売却損･償還損･償却⑤ウ	1	84	▲83
12	営業経費	4,002	4,483	▲481
13	人件費	1,732	1,783	▲ 51
14	物件費	1,977	2,364	▲387
15	業務純益⑥（①-③（金銭の信託見合費用除く））	362	▲38	401
16	(B)コア業務純益｛⑥-（②-⑤）+④｝	377	▲74	451
17	**本業収益**（投信解約損益除くコア業務純益）(B)-(A)	377	▲74	451
18	臨時収益⑦	107	95	12
19	株式等売却益エ	0	–	0
20	償却債権取立益	27	17	10
21	臨時費用⑧	285	709	▲423
22	個別引当金繰入額	211	253	▲41
23	株式等売却損･償却オ	0	0	0
24	臨時損益⑨（⑦-⑧）	▲178	▲614	435
25	経常利益（⑥+⑨）	183	▲652	836
26	特別損益	44	▲298	342
27	法人税、住民税及び事業税	▲17	▲4	▲12
28	中間純利益	245	▲946	1,192
29	不良債権処理費用	224	207	17
30	有価証券関係損益（ア+イ-ウ+エ-オ）	540	258	282

25年9月期　損益状況

25年9月期は増収増益
貸出金利息や有価証券利息配当金の増加、
営業経費や臨時費用の減少などにより黒字決算

- **業務収益は5,958百万円。前年同期比+747百万円の増収**
  - 貸出金利息は、貸出金平残が5,737百万円減少し、貸出金利回りが同0.186%上昇したことから、同＋503百万
  - 有価証券利息配当金は平残が9,370百万円増加し、有価証券利回りが同0.208%上昇した結果、同＋199百万円
  - 受入手数料は、投資信託及び保険窓販手数料の減少などにより同▲15百万円
- **業務費用は5,596百万円と、同+347百万円の増加**
  - 預金利息は、平残が同▲13,362百万円減少し、預金利回りが同0.193%上昇したことから、同＋751百万円
  - 営業経費は前年度の新システム稼働により増加していた人件費及び物件費の減少により同▲481百万円
- **臨時損益は同＋435百万円となり経常利益は同+836百万円**
- **業務収益は貸出金利息や有価証券利息配当金などが増加し増収**
  預金利息の増加により業務費用が増加したものの
  営業経費と臨時費用の減少、特別損益の改善により、
  中間純利益は245百万円（同＋1,192百万円）と増益となった

【無断転載禁止】

2.決算の概要（貸出<私募債含む>）

福島銀行

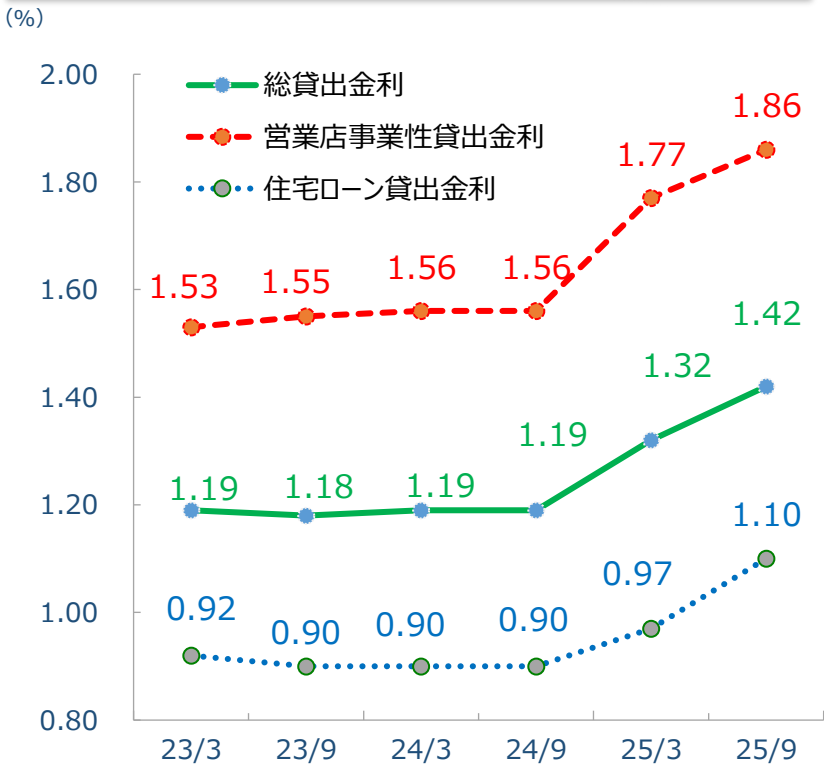
- 貸出残高（私募債含む）は、6,140億円。前年同期比▲11億円の減少
  - 事業性貸出（私募債含む）は、新型コロナウイルス対策資金の返済が進み同▲106億円の減少
  - 消費性貸出については、住宅ローン実行の増加により、同+51億円の増加
- 貸出平均約定金利は、政策金利の上昇に伴い1.42%と同+0.23%上昇

貸出　残高推移

（億円）

	22/9	23/9	24/9	25/9	前年同期比
事業性	3,103	2,958	2,815	**2,708**	▲106
営業店	2,264	2,135	2,038	**1,981**	▲57
私募債	430	402	335	**314**	▲21
本　部	407	420	440	**412**	▲27
消費性	2,168	2,242	2,319	**2,370**	51
住宅ローン	1,898	1,971	2,061	**2,122**	60
消費者ローン	221	225	214	**207**	▲6
消費性その他	48	45	43	**40**	▲2
地公体	837	938	958	**1,002**	43
その他	122	81	60	**60**	0
合　計	6,231	6,221	6,152	**6,140**	▲11
平　残	6,115	6,218	6,156	**6,056**	▲99

貸出平均約定金利



【無断転載禁止】

2.決算の概要（預金<NCD含む>・預かり資産）

福島銀行

- 預金と預かり資産を合わせた総預かり資産残高は、前年同期比+13億円増加し、9,276億円
  - うち預金残高は、同▲63億円減少し、8,098億円。預かり資産残高は、同+77億円増加し、1,178億円
- 預かり資産の販売額は、投信販売は同▲28億円減少、保険は同＋0億円の増加
- 預かり資産の販売手数料は、投資信託の販売額の減少により同▲1.1億円減少し、5.4億円

預金＋預かり資産の残高推移

（億円）

	22/9	23/9	24/9	25/9	前年同期比
預　金	8,075	7,912	8,162	**8,098**	▲63
個　人	5,048	4,947	4,914	**4,899**	▲14
法　人	2,318	2,083	2,079	**2,100**	21
地公体他	708	882	1,168	**1,098**	▲70
預かり資産	955	1,042	1,101	**1,178**	77
投　信	397	412	450	**487**	36
保　険	535	608	628	**665**	36
公共債	22	20	22	**25**	3
合　計	9,031	8,954	9,263	**9,276**	13

預かり資産　販売額推移

（億円）

	23/上期	23/下期	24/上期	24/下期	25/上期	前年同期比
投　信	68	97	115	92	**87**	▲28
保　険	85	72	59	45	**60**	0
公共債	1	3	3	2	**3**	0
合　計	155	172	179	140	**151**	▲27

預かり資産　販売手数料推移

（※SBIマネープラザ手数料を含む）

（億円）

	23/上期	23/下期	24/上期	24/下期	25/上期	前年同期比
合　計	5.2	6.4	6.5	4.9	**5.4**	▲1.1

【無断転載禁止】

2.決算の概要（有価証券）

福島銀行

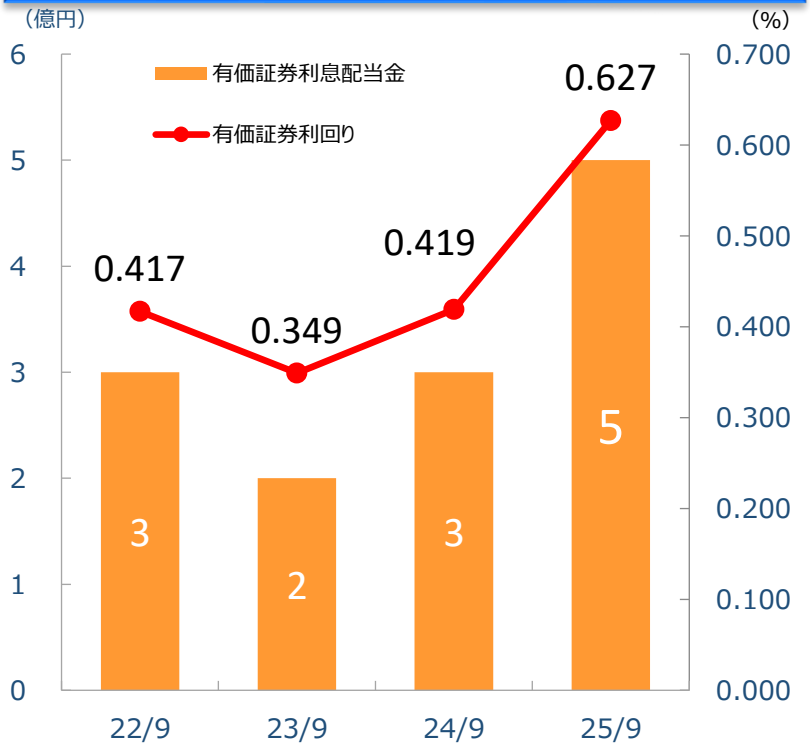
- 有価証券の残高は1,663億円（前年同期比+115億円の増加）
  - 債券中心のインカム運用方針を継続
  - 投資対象は信用力の高い国債や地方債等中心で元本毀損リスクは極めて低い
- 有価証券の評価損益は▲80億円（同▲6億円の悪化）
  - 国内金利の上昇を受け、国内債の評価損が拡大
  - SBIグループと連携し、有価証券ポートフォリオの状況や課題を共有し健全化に努める
- 債券のデュレーションは7.6年（同0.7年の短期化）
- 有価証券利回りは0.627%（同0.2%の上昇）

有価証券　残高推移

（億円）

	22/9	23/9	24/9	25/9	前年同期比
債　券	896	869	864	**977**	113
国内債	873	857	859	**973**	113
外国債	22	11	4	**4**	▲0
投資信託	616	616	627	**627**	▲0
外債型	616	616	623	**617**	▲6
株式型	–	–	–	**–**	–
その他	–	–	4	**9**	5
株　式	20	18	18	**22**	4
そ の 他	20	31	37	**36**	▲ 0
合　計	1,553	1,536	1,547	**1,663**	115
保有有価証券の評価損益	▲68	▲77	▲73	**▲80**	▲ 6
債券のﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ（年）	9.3	8.9	8.3	**7.6**	▲0.7

有価証券利息配当金と有価証券利回り



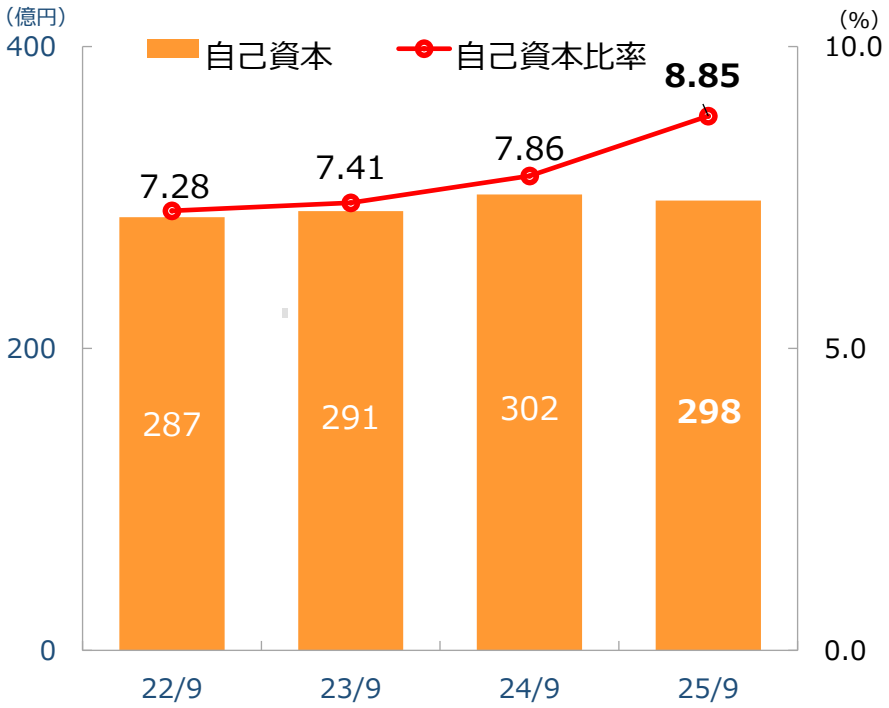
【無断転載禁止】

2.決算の概要（健全性）

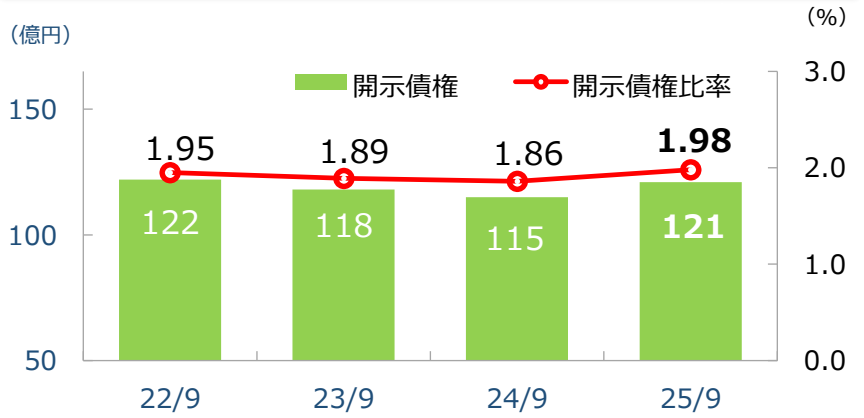
福島銀行

- 自己資本比率は、バーゼルⅢ最終化基準適用により8.85%（前年同期比+0.99%）と上昇、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は9.26%（同+1.02%）
- 金融再生法開示債権は、121億円（同+6億円）
  金融再生法開示債権比率は、1.98%（同+0.12%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、2.2億円（同+0.1億円の増加）

自己資本比率



金融再生法開示債権比率



与信関連費用

（※）一般貸倒引当金繰入額＋個別貸倒引当金繰入額
＋貸出金償却等－貸倒引当金戻入額

(億円)

22/9	23/9	24/9	25/9	前年同期比
1.8	1.3	2.0	**2.2**	0.1

【無断転載禁止】

2.決算の概要（2026年3月期の決算予想）

福島銀行

- 2025年度（2026年3月期）は、5億円程度の当期純利益を見込んでおります。
- 2025年度（2026年3月期）の配当は、1株あたり 5円 を予定しています。

2025年度（2026年3月期）決算予想

（億円）

		24/3月期 実績	24/9月期 実績	25/3月期 実績	25/9月期 実績	26/3月期 予想
単体	経常収益	109	53	108	60	**124**
	経常利益	14	▲6	▲12	1	**6**
	当期純利益/中間純利益	11	▲9	▲13	2	**5**
連結	経常収益	133	66	134	71	**149**
	経常利益	11	▲6	▲11	1	**6**
	親会社株主に帰属する当期純利益/中間純利益	8	▲9	▲12	1	**5**

【無断転載禁止】

3. SHINふくぎん 中期経営計画

福島銀行

SHINふくぎん 中期経営計画（5か年計画）

基本方針

「デジタル」のチカラで「リアル」の力を最大化

基本戦略

DX（デジタル）

次世代バンキングシステムを最大限に活用し、徹底的に業務の**DX化（デジタル）**を図ります
リテールビジネスは**スマホで完結。**
お客さま利便性の向上を目指します

対面営業（リアル）

事務量の半減により、**本部から営業店へ、店頭から渉外へ**人員を再配置します
対面（リアル）での**「事業者支援」**と**「資産形成支援」**に人的資源を集中します

人材開発

エリアでの営業体制を構築し、人材育成に注力します
対面営業の**質的・量的向上**を目指し、**コンサルティング力**に優れた人材の育成を図ります

福島銀行

2025年度は「体制整備」の年！

SHINふくぎん 中期経営計画 スケジュール

	年	ハイライト
1	2024	新システムの安定稼働
2	**2025**	**体制整備**
3	2026	安定した収益の計上
4	2027	収益の拡大
5	2028	ビジネスモデルの確立

DX

対面営業

人材開発

10年後の目標……デジタルトランスフォーメーションとコミュニケーションで福島を元気にする銀行

2025年の主な取り組み

【DX】
① 次世代ﾊﾞﾝｷﾝｸﾞｼｽﾃﾑ STEP2（7月）
② 「ふくぎんアプリ」アップデート（9月）

【対面営業】
① 「エリア営業体制」の導入（4月）
② 本部組織の改正（7月）

【人材開発】
① フェロー制度の拡充（7月）
② 研修の強化（10月）

2026年3月期 通期目標5億円→中間純利益 2.4億円
順調に推移しており、着実に中期経営計画を実行中

【無断転載禁止】

福島銀行

エリア営業体制

「リアル」の力を最大化！「エリア営業体制」導入

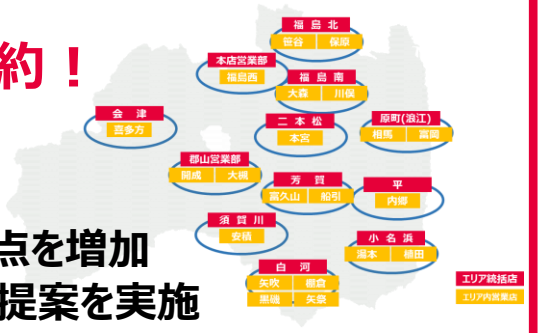
お客さまとの接点増加 ＋ 充実したサービスの提供

「エリア営業体制」の特徴（2025年4月導入）

店舗ごとの役割を明確化。従来の40店舗体制から、地域ごと12エリア体制へ

① 12エリアの「エリア統括店」に法人営業担当者を集約！

② 「CA」を各エリア統括店に増員配置！



- 担当エリアの重複解消。**エリア内の運営効率化→お客さまとの接点を増加**
- **ナレッジ(知識・経験・情報)を共有する**ことによりお客さまへ**最適な提案を実施**
- 「CA」が地域のお客さまの資産形成を専門的・継続的にサポート!
  「CA」がエリアの「リテールサービス課社員」を育成→より付加価値の高いサービス提供へ

※ CA（コンサルティングアドバイザー）：資産運用に係る業務に専門的に従事する社員

【無断転載禁止】

福島銀行

本部組織の改正

「中期経営計画」の実効性UP！本部組織の改正！

組織のスリム化＋意思決定スピードＵＰ

「本部組織改正」のおもな内容（2025年7月改正）

① 営業本部を「営業統括部」「DX・市場営業部」へ

② リスク管理の高度化 「融資・リスク統括部」に統合

③「人材開発部」 採用、人材育成、人事に特化！

- **コンサルティング営業の充実**と**お客さま利便性の向上**
  → 対面部門と非対面部門に分割
- **信用リスク管理部門**と**リスク管理部門**を統合
  → 複雑化、多様化するリスクに対処
- **人材開発の実効性**を高める
  → **渉外社員の質的向上**を加速

【改正前】
36部門
10部
15課
11室・所

【改正後】
28部門
7部
13課
8室・所

【無断転載禁止】

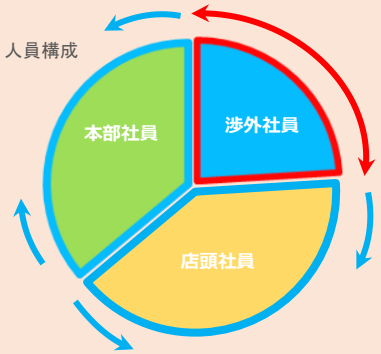
福島銀行

渉外社員の推移

体制整備 ＋ デジタルによる業務効率化
→渉外社員は着実に増加！

人員構成推移

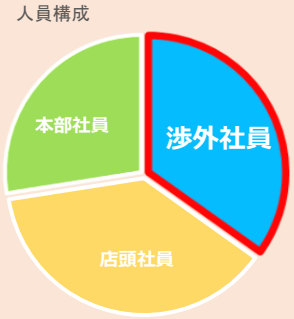
24/3期



中期経営計画前の人員構成

渉外社員比率は1/4以下

25/9期

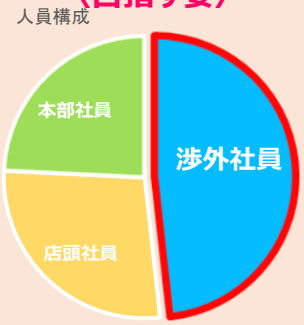


現在（25/9期）の人員構成

渉外社員比率は1/3程度で推移

29/3期

〈目指す姿〉



最終年度（29/3期）の人員構成

渉外社員比率は1/2程度へ

渉外社員の増加によりコンサルティング営業を強化！

法人のお客さまの課題解決や個人のお客さまの資産形成支援を通して

地域経済の発展に貢献

【無断転載禁止】

福島銀行

次世代ﾊﾞﾝｷﾝｸﾞｼｽﾃﾑ

次世代ﾊﾞﾝｷﾝｸﾞｼｽﾃﾑSTEP2！

投資信託・生命保険のペーパーレスによる取扱開始！

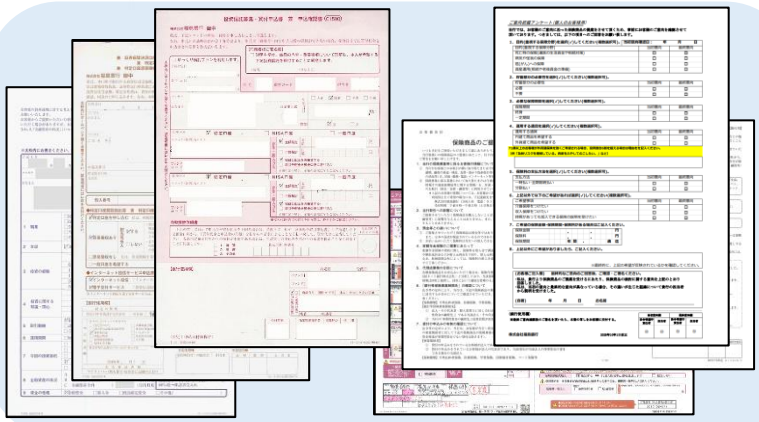
次世代バンキングシステムの機能拡充

- 従来、窓口で投資信託、生命保険の取引→紙の申込書でのお手続き
- 2025年7月よりSTEP2が稼働　**ペーパーレス取引が可能に**

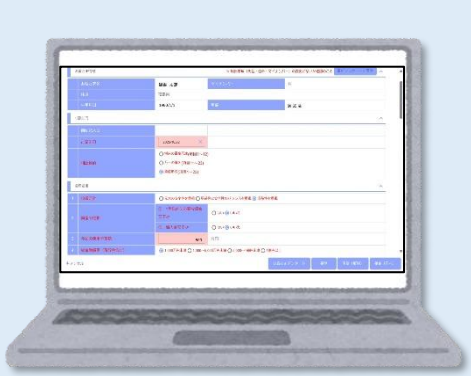
  投資信託：個人、法人のお客さま**「証券口座開設」「投資信託購入」**

  生命保険：個人のお客さま　　**「新規ご契約」**
- 事務量（伝票枚数）は2025年7~9月で**約50%削減！**（2024年3月比）

【稼働前】紙の申込書によるお手続き
お客さまに大量の書類記入をお願いしていた



【稼働後】窓口でもペーパーレスに！
お客さまのご負担軽減＋事務量の削減



【無断転載禁止】

福島銀行

アプリアップデート

「ふくぎんアプリ」アップデート！

「資産の見える化」が進化！アプリでローン完結！

2025年9月アップデート！

- お客さまが保有する当行金融資産が**まとめてアプリで確認可能に**！

＜ローン残高照会＞

＜ローン繰上返済＞

＜預かり資産残高照会＞

●預かり資産

機能	サービス詳細
残高照会	投資信託、公共債、保険の残高照会が可能（※1）

●ローン

機能	サービス詳細
残高照会	ローンの残高照会が可能
返済履歴確認	ローンの返済履歴を確認可能
返済予定確認	ローンの返済予定を確認可能
繰上返済	ローン繰上返済のお申込みが可能（※2）
随時返済／借入	カードローン入出金が随時可能

（※1）保険については、ご契約いただいている保険商品名の確認が可能です。
（※2）住宅ローンについては、アプリからのお申込み後、ご来店での手続きが必要となります。

【無断転載禁止】

福島銀行

アプリアップデート

ローン申込は
365日24時間受付！

- **ローンの申込から契約**まで「ふくぎんアプリ」で**完結可能**に！ (※1)

新規口座開設や既存口座のアプリ連携とローンの同時申込も可能に！

＜ローン申込＞

アプリのホーム画面から
申込可能

＜口座開設（連携）＋ローン申込＞

アプリのダウンロード後、
ローン同時の申込選択が可能

（※1）住宅ローンについては、対象外となります。

【無断転載禁止】

福島銀行

フェロー制度の拡充

フェロー制度の拡充！

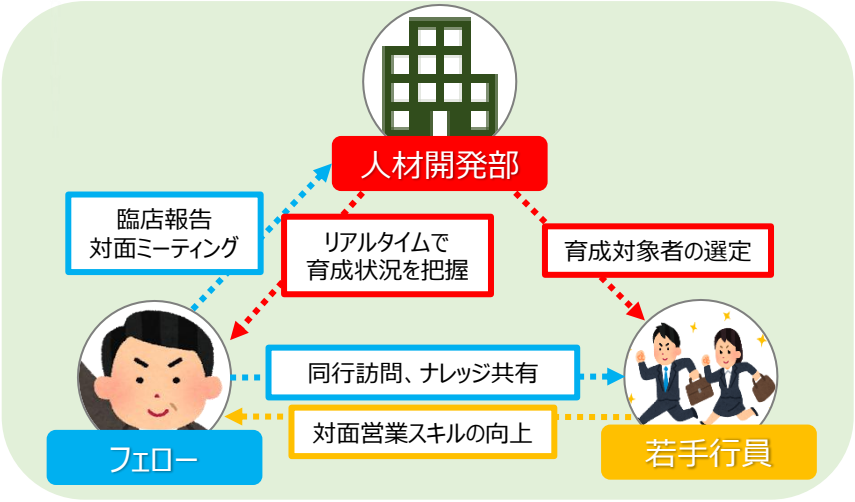
営業に強い人材の育成を図る！

ナレッジの共有により、対面営業力を向上！

- フェロー制度…**専門的知識や経験のある担当者**が若手を中心に行員のOJTを担当
- 7月より増員し、現在担当者は4名 エリア統括店に駐在し、全エリアを分担して担当
- 事業性融資を中心とした**実践的な同行訪問**や**面談**を通して悩みの解決へ
- 第1弾(2025年4月～9月)は**法人営業経験の浅い社員を中心に約40人**を選出

→ **渉外社員の早期育成およびエリア営業体制の確立を目指す**

➤ フェロー制度 スキーム図



➤ フェローと面談する若手行員

【無断転載禁止】

福島銀行

研修の強化

事業性融資に強い人材の育成！

「SHINふくぎん 事業性融資実践ラボ」

事業性融資の案件発掘～実行までワンストップに対応可能な社員の育成

- **「SHINふくぎん事業性融資実践ラボ」**2025年10月から開始（～2026年3月）
- 事業性融資を学びたい意欲のある社員が対象
- 対面（各部担当者、外部講師）と Webの計12回の研修＋通信講座
- 各エリアから計24名が参加　**6か月間で集中的に研修　実務で役立つスキルの習得**

→ **事業者支援の実効性を高め、対面営業の「質」と「量」を高める**

➤ **「SHINふくぎん事業性融資実践ラボ」で下記のスキルを習得！**

基礎知識　分析　開拓　ヒアリング　提案　与信　契約　フォロー・関係深化　システム

➤ **上記研修以外にもさまざまな研修を実施！**

- 「ふくぎん寺子屋 」　…… 年齢・役職問わず希望する社員が対象
- 「トワイライトセミナー」…… 35歳以下の若手社員・中堅社員が対象

・事業性融資を含む営業スキルの習得
・ナレッジの共有・活用

【無断転載禁止】

4. SBIとの連携

主要施策：事業者支援

事業者向けサービスの充実

地域の事業承継の問題を解決！
投資専門子会社「ふくぎん地域活性化投資」の設立

- 事業承継などの地元企業の課題に対し、「エクイティ投資」を通じ、地域の経済、雇用を守るなど地域活性化に貢献
- **設立の中心メンバーはSBIへの出向経験者 若手の積極的登用**

称　　号	株式会社ふくぎん地域活性化投資
所 在 地	福島県福島市万世町2-5（福島銀行 本店ビル内）
設　　立	2025年8月27日
主な事業内容	1. 有価証券および金銭債権等の取得、保有および売却 2. 投資対象会社等に対するコンサルティングおよびビジネスマッチング業務　など

SBIグループへの出向により、
銀行業務の高度化へ向けた専門人材を育成！

【無断転載禁止】

福島銀行

主要施策：資産形成支援

個人向けサービスの充実

SBIグループ商品の取り扱いが増加！

SBI信用保証株式会社

2025年11月
住宅ローン新商品導入

概要	○「SBI信用保証住宅ローン」 【本人やそのご家族が居住するための住宅資金】 ・住宅（新築・中古）・マンションの購入 ・ご利用中の住宅ローン借換え資金、リフォーム資金等 ・上記にかかる諸費用資金 ○「SBI信用保証住宅ローンアルファ」 【上記の住宅資金＋おまとめ資金の併用が可能】
金額・期間	2億円以内・50年以内

SBI損保

地域金融機関
初の取り扱い！

がん保険　　**海外旅行保険**

従来取扱していた「SBI損保の自動車保険」に加え、
当行のWebサイト経由でスムーズな申し込みが可能に

地域のお客さまの多様なニーズにお応えし、
地域経済・地域社会の発展に貢献します！

【無断転載禁止】

福島銀行

地方創生の取り組み

「令和の米騒動」をジローラモが救う！定期預金（愛称：GIRO米定期）発売！

■ SBIグループとの「地方創生」に向けた取り組み

会津地方において農業を通じて「地方創生」に取り組むジローラモ氏とコラボレーション

商品の特徴

① 預入額に応じてタレントのジローラモ氏が作る有機米「GIRO米」をプレゼント！

② アプリからの申し込みでお米が上乗せ！

※ GIRO米…タレントのジローラモ氏が会津美里町で手掛けている、有機栽培にこだわった健康的なお米

【無断転載禁止】

5. その他地域を元気にする取組み

第14回　障がい者施設製品大展示即売会（11月21日、22日開催）

- **2019 年開催以来、6年ぶりのリアル（対面）開催！**
  当行は、今後も社会貢献活動の一環として授産施設事業の活動を応援してまいります

- **2011年の第1回から通算14回目の開催！**
  震災後、福島県産品の販売が伸び悩むなか、
  地域金融機関として「福島県内での販売の場」を
  提供するための企画としてスタートしました
  （コロナ禍にはカタログ販売形式で継続開催）

<2019年開催時の様子>

【無断転載禁止】

福島銀行

各地のお祭りに参加しました！

▶ 当行は、地域貢献・地域活性化のため、積極的に参加しております

● わらじ祭り

● 郡山うねめまつり

● ほばらサマーフェスティバル

● 本宮市夏祭り

● 相馬盆踊り大会

● 蔵のまち喜多方夏まつり

● 白河関まつり

● いわきおどり中央大会

【無断転載禁止】

福島銀行

クラウドファンディングで地域を元気に！

▶ 当行は、地域のお客さまの資金調達や対外的なプロモーション等の課題解決に取り組んでおります

● リニューアルオープン！福島県飯坂温泉『松島屋桃香』未来へつなぐ老舗の挑戦

実行者	有限会社 松島屋旅舘
目標金額	3,000,000円
募集期間	2025年4月25日～2025年6月15日

● 高校生が考えた『さわやかカレーパン』をカレーまつりで販売したい！

実行者	福島県立福島商業高等学校 商品開発部
目標金額	850,000円
募集期間	2025年9月2日～2025年9月30日

● アートを身近に！会津の高校生が挑戦！！気軽に参加できる作品展を開催したい！！！

実行者	福島県立葵高等学校
目標金額	90,000 円（All-in 方式）
募集期間	2025年9月22日～2025年10月31日

【無断転載禁止】

当行のプロフィール

福島銀行

【2025年9月末現在】

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	196億円
株主数	15,638名
従業員数	562名（うち正社員428名）
店舗数	57店舗（5出張所、3ﾛｰﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾈｯﾄ支店含む）
預金残高	8,098億円
預かり資産	1,178億円
貸出金残高	6,140億円（私募債含む）
自己資本比率	8.85%（単体）、9.26%（連結）
金融再生法開示債権比率	1.98%
連結子会社	㈱ふくぎんリース＆クレジット ㈱東北バンキングシステムズ ㈱ふくぎん地域活性化投資

（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 小野寺好孝、金成洋輔 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。

【無断転載禁止】